

2022年9月期 第3四半期  
**決算説明資料**

---

日本エコシステム株式会社

くによく

証券コード:9249

I. 2022年9月期 第3四半期 決算概要	2P
II. 2022年9月期(8/8時点)トピックス	8P
III. サステナビリティおよびCSR	13P
IV. 通期業績予測	16P
V. 成長戦略	19P
VI. Appendix	25P

---

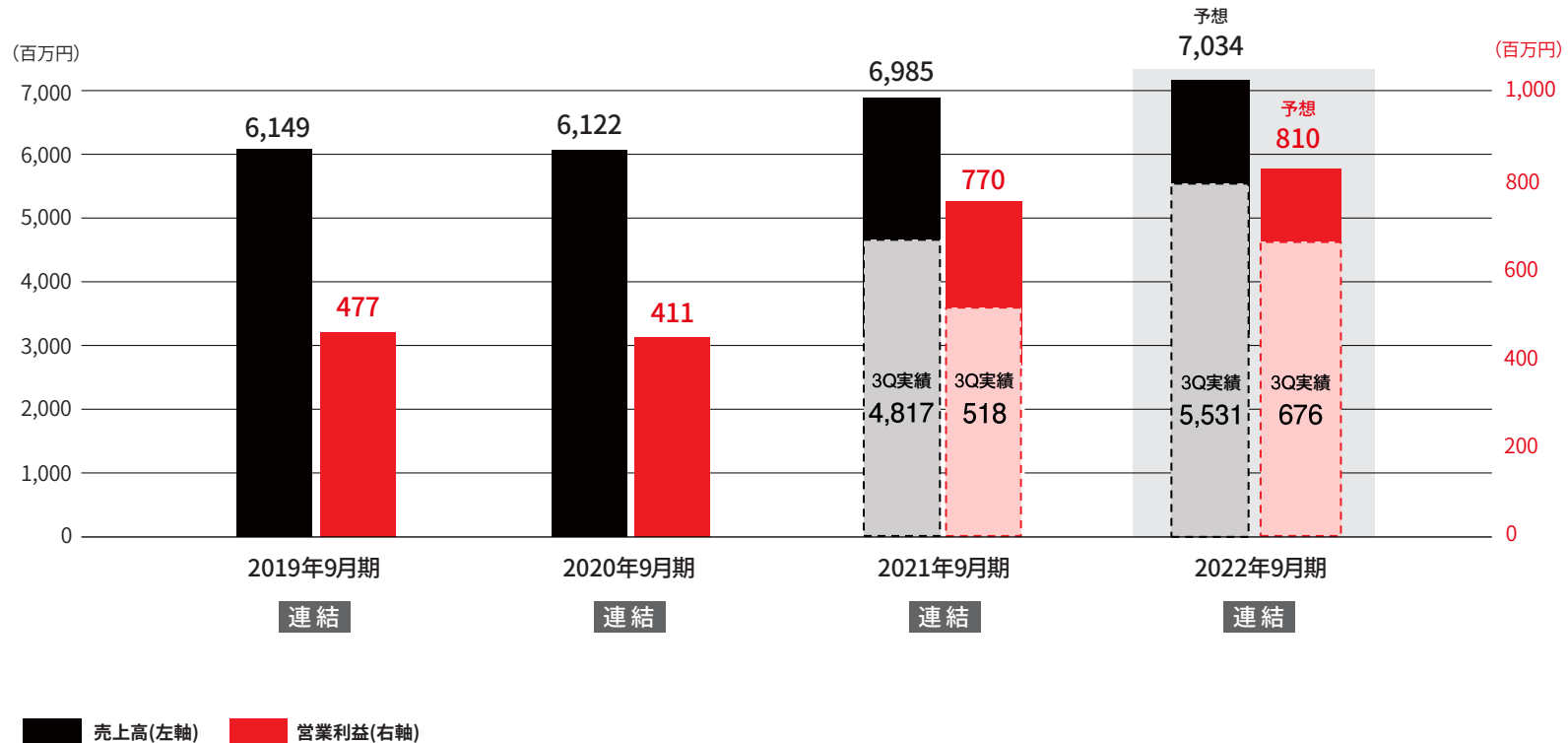
# 2022年9月期 第3四半期 決算概要

---

## 第3四半期 売上高・営業利益の推移



2022年9月期 第3四半期(累計)は前年同期比で**増収増益**を達成  
当期予想に対し順調な推移



## 第3四半期 損益計算書サマリー



(単位：百万円)

	2021年9月期 第3四半期累計実績	2022年9月期 第3四半期累計実績	対前年同期比	通期計画	進捗率対計画比
売上高	4,817	5,531	114.8%	7,034	78.6%
営業利益	518	676	130.5%	810	83.5%
経常利益	550	730	132.6%	831	87.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	378	414	109.6%	588	70.5%

### 売上高の主な増加要因

- 太陽光発電設備の高額工事受注増
- 空調衛生設備工事受注増
- 水循環システム(水族館等)の需要増
- 公営競技施設の機器設置工事受注増

### 当期純利益の主な増減要因

- 売上増加に伴う営業利益及び経常利益の増加
- 株式会社日新ブリッジエンジニアリングを完全子会社化したことに伴う特別損失計上
- 上場による増資により税金負担増加(中小法人から大規模法人へ変更)

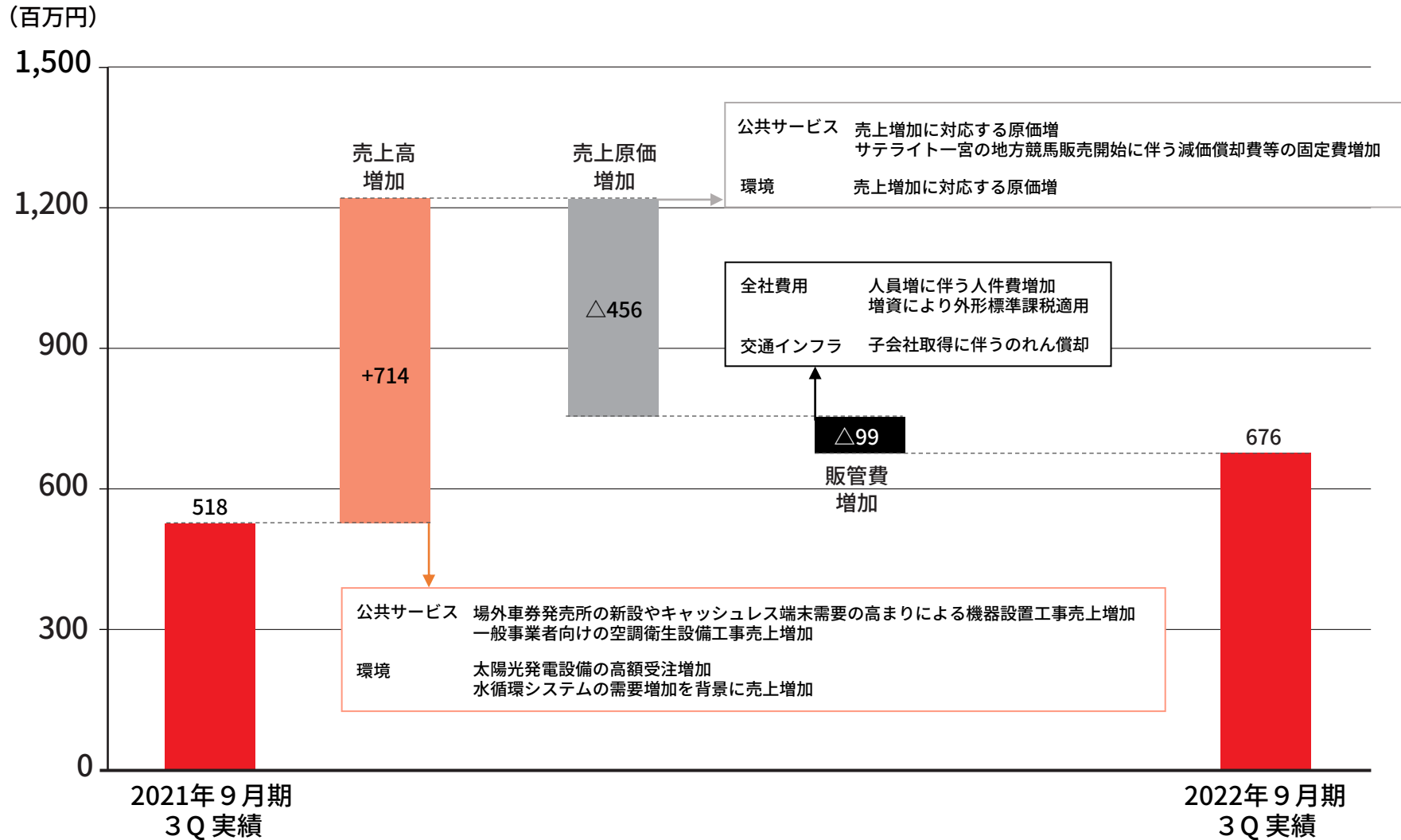
## 第3四半期 セグメント別実績



(単位：百万円)

区分		2021年9月期 第3四半期累計実績	2022年9月期 第3四半期累計実績	対前年同期比	通期計画	進捗率対計画比
公共サービス 事業	売上高	2,413	2,700	111.9%	3,571	75.6%
	営業利益	336	448	133.6%	595	75.4%
環境事業	売上高	436	772	176.8%	852	90.6%
	営業利益	△8	91	—	90	100.7%
交通インフラ 事業	売上高	1,716	1,886	109.9%	2,237	84.3%
	営業利益	497	526	105.8%	586	89.8%
その他	売上高	250	172	68.8%	372	46.2%
	営業利益	59	6	11.6%	100	6.9%

# 第3四半期 営業利益の増減要因分析



# 株主還元



## 配当の状況

株主の皆様へ感謝の意を表すため、2022年9月期 第2四半期末を基準日とした**上場記念配当10円/株**を実施  
2023年9月期以降の配当性向については25%前後を目指す方針

### 2021年9月期

期末配当 25.00円/株

年間配当 25.00円/株  
配当性向 8.7%

### 2022年9月期

期末配当 40.00円/株  
**記念配当<sup>※1</sup> 10.00円/株**

年間配当 50.00円/株  
配当性向 22.6%

※1 2022年9月期 第2四半期



# || 2022年9月期(8/8時点) トピックス

---

## 環境事業



### 「水循環システム」の施工実績

当社が水循環システムの施工を行う、  
神戸市の学校跡地を再利用した「みなとやま水族館」がオープン

みなとやま水族館 (2022年7月完成)



水循環システム実績

宮島水族館、スマートアクアリウム静岡、串本海中公園センター  
みなとやま水族館など

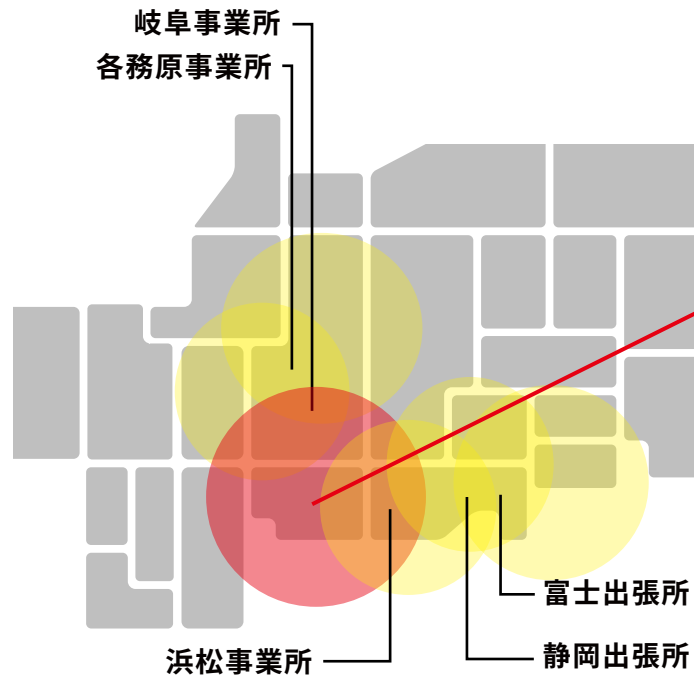
# 交通インフラ事業



## 新規の事業所開設(愛知県豊田市)

業務エリアの拡張、隣接エリアへの支援、移動コストの削減などを図り  
お客様のニーズに迅速かつフレキシブルに対応できる環境を整える

### ■ 交通インフラグループ拠点



### ■ 豊田事業所



#### 面積

1541.60㎡ 465.74坪  
4Tトラック 約20台分

#### アクセス

豊田IC 5分

# 公共サービス事業



## 公営競技場 受託場数の推移

公営競技施設の運営・保守等について受託後は安定的な運営が継続できている  
また、2022年6月から競輪場外発売場サテライト秋田の部分受託業務を開始

		2019年9月	2020年9月	2021年9月	2022年9月 第2四半期	2022年9月 第3四半期
本場 ※実際に自転車や バイクが走る競技場	包括受託 (料率売上)	—	—	※1 1場	1場	1場
	部分受託	4場	4場	3場	3場	3場
場外発売場 ※投票券を販売 するのみの施設	包括受託 (料率売上)	2場	3場	3場	4場	4場
	部分受託	11場	11場	11場	10場	11場
競技別	競輪	10場	10場	10場	10場	11場
	地方競馬	4場	4場	4場	5場	5場
	オートレース	—	1場	1場	1場	1場
	ボートレース	3場	3場	3場	2場	2場

※1 部分受託から包括委託へ契約形態を移行

※2 上記二つの表は日本ベンダーネット及びサテライト一宮の受託場数を合算した数値を表記

## 公共サービス事業



2022年7月よりサウナショールーム開設

世界80か国以上に製品を供給するサウナ&スパの  
**世界的ブランド、HARVIA**の木製プライベートサウナの取り扱いを開始  
健康志向や施設の付加価値化の需要に合わせて木製サウナの普及を図る





## サステナビリティおよびCSR

---

# サステナビリティおよびCSR①



当社は、SDGsへの取り組みを強化し、  
地域の皆様とともに持続可能な社会の実現に向けた活動を推進いたします

重要課題	関連SDGs	当社の取り組み
地球環境に配慮した排水浄化処理の普及	    	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 排水を無害化できる製品の開発・製造</li> <li>■ 排水浄化処理および水循環利用の導入促進</li> </ul>
交通インフラ長寿命化への貢献	   	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経年劣化した高速道路・トンネル等の補修事業の拡大</li> </ul>
再エネの利用促進	   	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 太陽光発電設備の設置・施工</li> <li>■ 再生エネルギーの導入促進</li> </ul>



ポジティブ・インパクト・  
ファイナンス  
第1号案件の契約締結

当社の企業活動におけるインパクトを  
包括的に分析・評価し、名古屋銀行による  
ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行

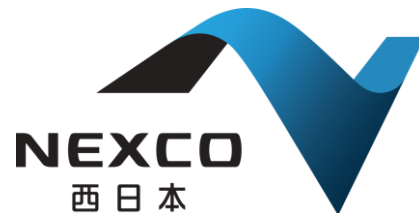
※本ページ中の各社のロゴ・マークは各社の登録商標または商標です

## サステナビリティおよびCSR②



当社は、グリーンボンド・ソーシャルボンドへの投資を継続的に実施し、  
今後も社会的課題の解決、持続可能な開発目標の達成に貢献いたします

### ソーシャルボンド 1件目



社会基盤である高速道路の整備と  
長期保全のため、西日本高速道路株式会社が  
発行するソーシャルボンドへの投資を実行

### ソーシャルボンド 2件目



教育の機会均等に寄与するために、  
独立行政法人日本学生支援機構が発行する  
ソーシャルボンドへの投資を実行

※本ページ中の各社のロゴ・マークは各社の登録商標または商標です



# IV 通期業績予測

---

# 通期業績見通し



	2021年9月期（実績）		2022年9月期（計画）			
	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	前年同期比	
					増減額 （百万円）	増減率 （%）
売上高	6,985	100.0	7,034	100.0	+48	+0.7
売上総利益	1,925	27.6	2,074	29.5	+148	+7.7
営業利益	770	11.0	810	11.5	+39	+5.1
経常利益	801	11.5	831	11.8	+29	+3.7
親会社株主に 帰属する 当期純利益	571	8.2	588	8.4	+16	+2.9
EPS	285.95円	—	220.99円 <sup>※1</sup>	—	△64.96円	△22.7

※1 EPS減少は、新株発行の影響（希薄化）によるもの

# 新型コロナ 事業への影響



## 公共サービスの競技場来場者数の減少影響により多少のマイナス

セグメント		2021年9月期		2022年9月期（予想）	
		影響度	概況	影響度	概況
公共サービス	運営保守	マイナス影響（中）	短縮営業に伴う 売上減少	マイナス影響（小）	時短営業に伴う 売上減少（僅少）
	ファシリティ	—	受注・工事ともに 影響なく進捗	—	受注・工事ともに 影響なく進捗
環境		—	販売影響なく進捗	—	販売影響なく進捗
交通インフラ		—	受注・工事ともに 影響なく進捗	—	受注・工事ともに 影響なく進捗

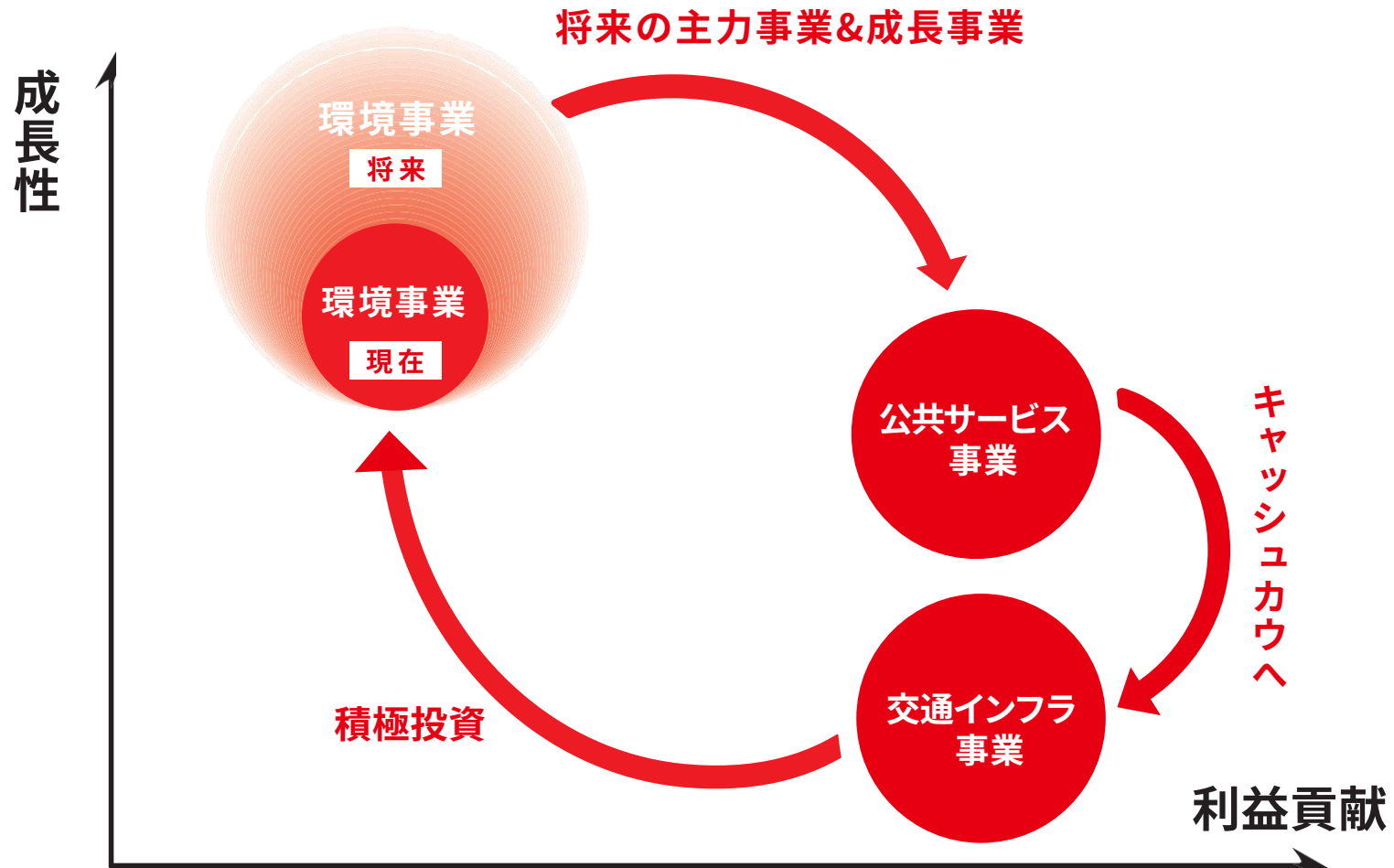
# V 成長戦略

---

# 成長戦略



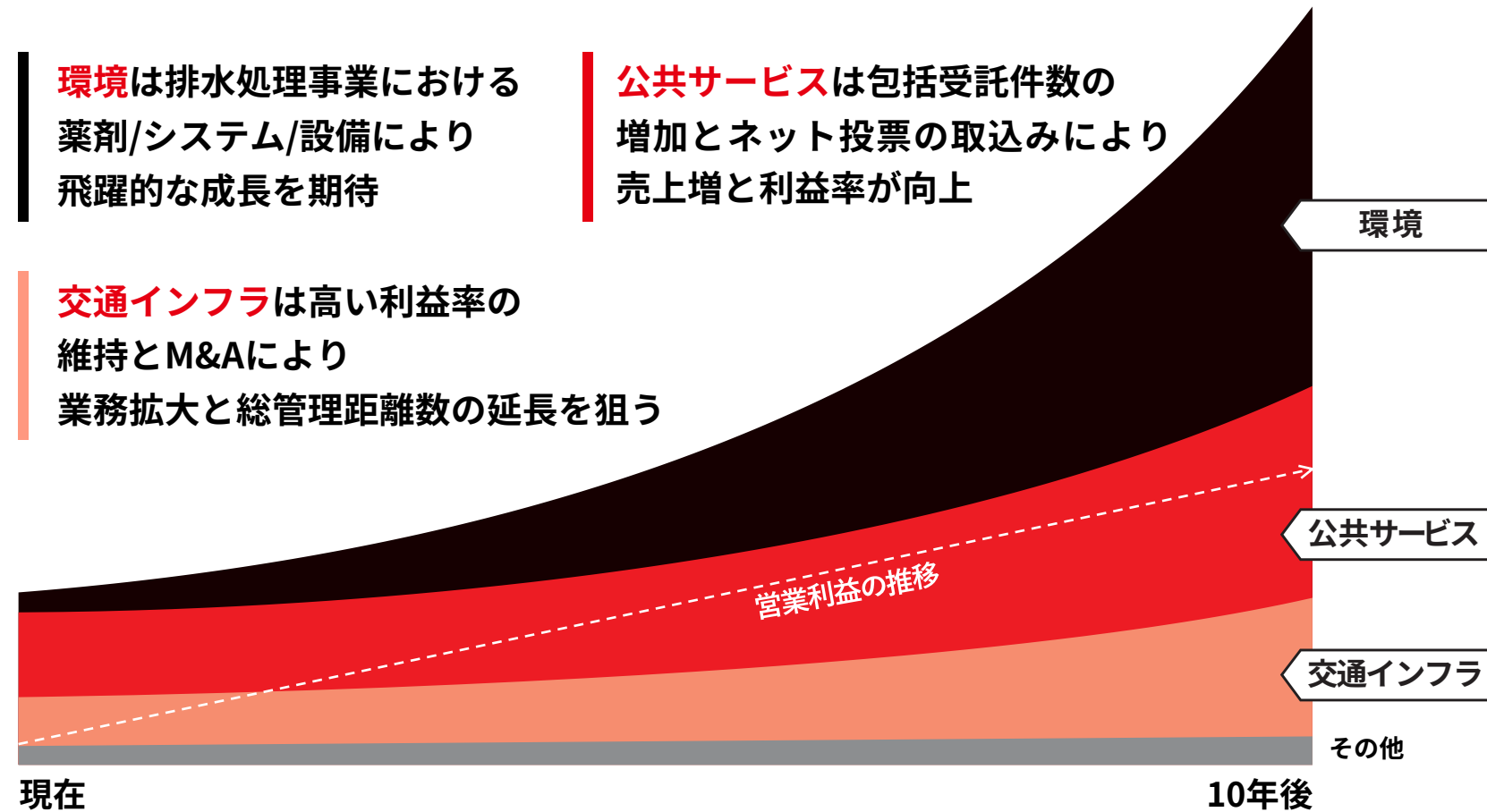
## 事業ポートフォリオのエコシステム



# 利益成長イメージ



## クロスセルを柱とした部門間シナジーの創出とM&Aによる成長



# 成長ポテンシャル(環境)



# 成長ポテンシャル(公共)





# 成長ポテンシャル(交通)



出所：「国土交通省所轄分野における社会資本の将来の維持管理・更新費の推計」・「老朽化対策の取り組み」国土交通省・社会資本の老朽化の現状と将来（インフラメンテナンス情報）

# VI Appendix

---

# 会社概要



会社名	日本エコシステム株式会社	資本金	751,216,638円
設立	1998年11月	決算期	9月
会社所在地	愛知県一宮市本町二丁目2番11号 JES一宮ビル	発行済株式数	2,675,500株
代表者	代表取締役社長 松島 穰	従業員数	400名(平均臨時雇用人員含む) ※22/6/30時点
事業内容	公共サービス事業	監査法人	EY新日本有限責任監査法人
	環境事業 交通インフラ事業	上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 名古屋証券取引所 メイン市場



# 社是・経営理念



〔社是〕

み

こう

どう

未  
晃  
道

未来の地球を照らし、  
輝き続ける事業を創造します。

〔経営理念〕

事業を通じ、

物心両面の幸福を追求すると同時に、  
かけがえのない地球環境の  
維持にも貢献します。

# 事業概要



## 事業区分及び主な事業の内容

当社グループは計8社で構成されており、社会インフラサービス企業として公共サービス事業、環境事業、交通インフラ事業に取り組んでいます

区分	主な事業の内容	主な関係会社
公共サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>公営競技場における、トータリゼータシステムの設計・製造・販売・機器設置及び一般事業者も含めた空調衛生設備等のファシリティに関わる事業</li> <li>公営競技場における、トータリゼータシステムのメンテナンスに関わる事業、AIによる競輪予想サービス・警備・清掃等の運営業務に関わる事業</li> </ul>	当社 日本ベンダーネット(株) サテライト一宮(株) 中央警備保障(株)
環境事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水浄化効率を促進させる製剤の研究開発、製造及び販売業務に関わる事業</li> <li>産業用太陽光の再生可能エネルギー発電設備の設計、施工、保守等業務に関わる事業</li> </ul>	当社 JESテイコク(株)
交通インフラ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速道路を中心とした構造物点検、電気通信設備・ETC保守、交通管制業務、道路照明灯保守等の道路エンジニアリングに関わる事業</li> <li>高速道路を中心とした維持修繕工事、事故・災害復旧工事、雪氷対策作業、土木工事、交通規制等の道路メンテナンスに関わる事業</li> </ul>	当社 (株)ワズライフ (有)ぼくちオジカオート (株)日新ブリッジ エンジニアリング
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業</li> <li>不動産の仲介、売買、賃貸等不動産に関わる事業</li> </ul>	当社

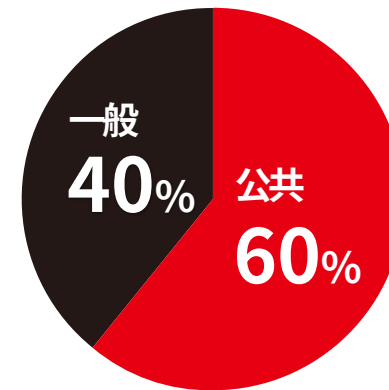
## 事業概要



### 当社事業の特徴

**BtoP (Public)**  
**を中心とした**  
**安定性の高い領域で**  
**事業展開**

2021年9月  
 売上構成比



## 当社グループは参入障壁の高い3セグメントより構成

### 公共サービス事業

自治体が主催する公営競技における運営サービスを展開。川上のシステム設計から川下の施設運営までを一貫通貫で提供する事により差別化。

### 環境事業

再生可能エネルギー事業に加え、排水処理事業を開始。将来の主力ビジネスに育成中。

### 交通インフラ事業

主に自治体・中部エリア高速道路会社からの委託を受けて構造物点検や電気通信設備・ETC等の保守サービスを展開。高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現。

# 事業概要



## 当社グループとセグメント

エンジニアリング・メンテナンスを強みに公共施設・環境関連向け「社会インフラサービス企業」として事業展開



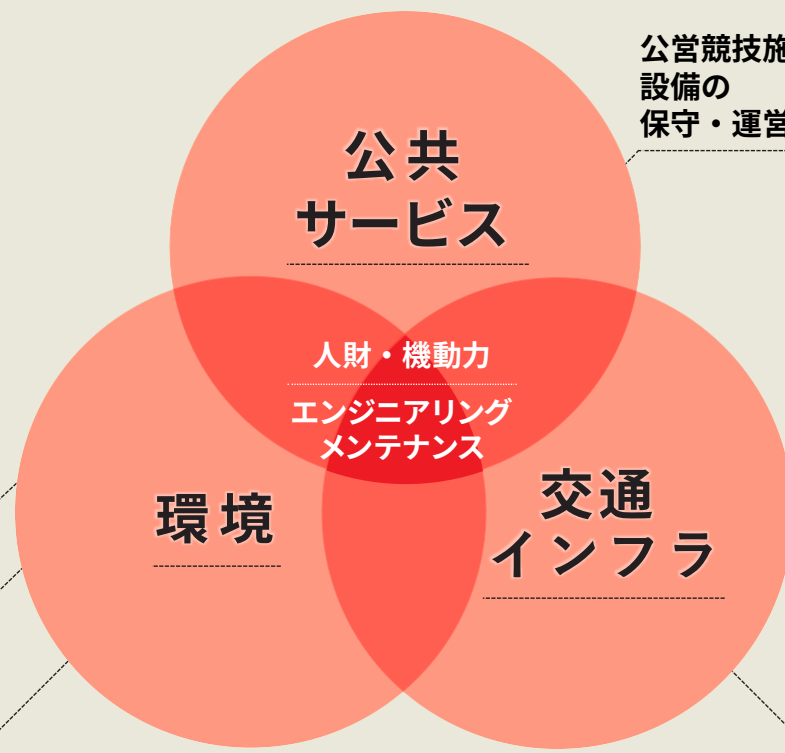
### 【排水浄化処理事業】

排水浄化設備のメンテナンス  
排水浄化効率促進剤の  
製造・販売

### 【再生可能エネルギー】

太陽光発電設備の  
販売・施工等

得意先 ( **Public** : 地方公共団体・高速道路運営事業者等)



公営競技施設  
設備の  
保守・運営等



### 【エンジニアリング】

高速道路付帯設備 (ETC等)  
の維持・管理、  
LED照明設備の設置等

### 【メンテナンス】

高速道路の橋梁点検、  
事故処理・雪氷対策等

# 環境事業



## ビジネスモデル

- 2020年より排水浄化処理事業を開始、将来の主力ビジネスに育成中
- 産業用太陽光発電設備の施工及び売電が現在の主力事業



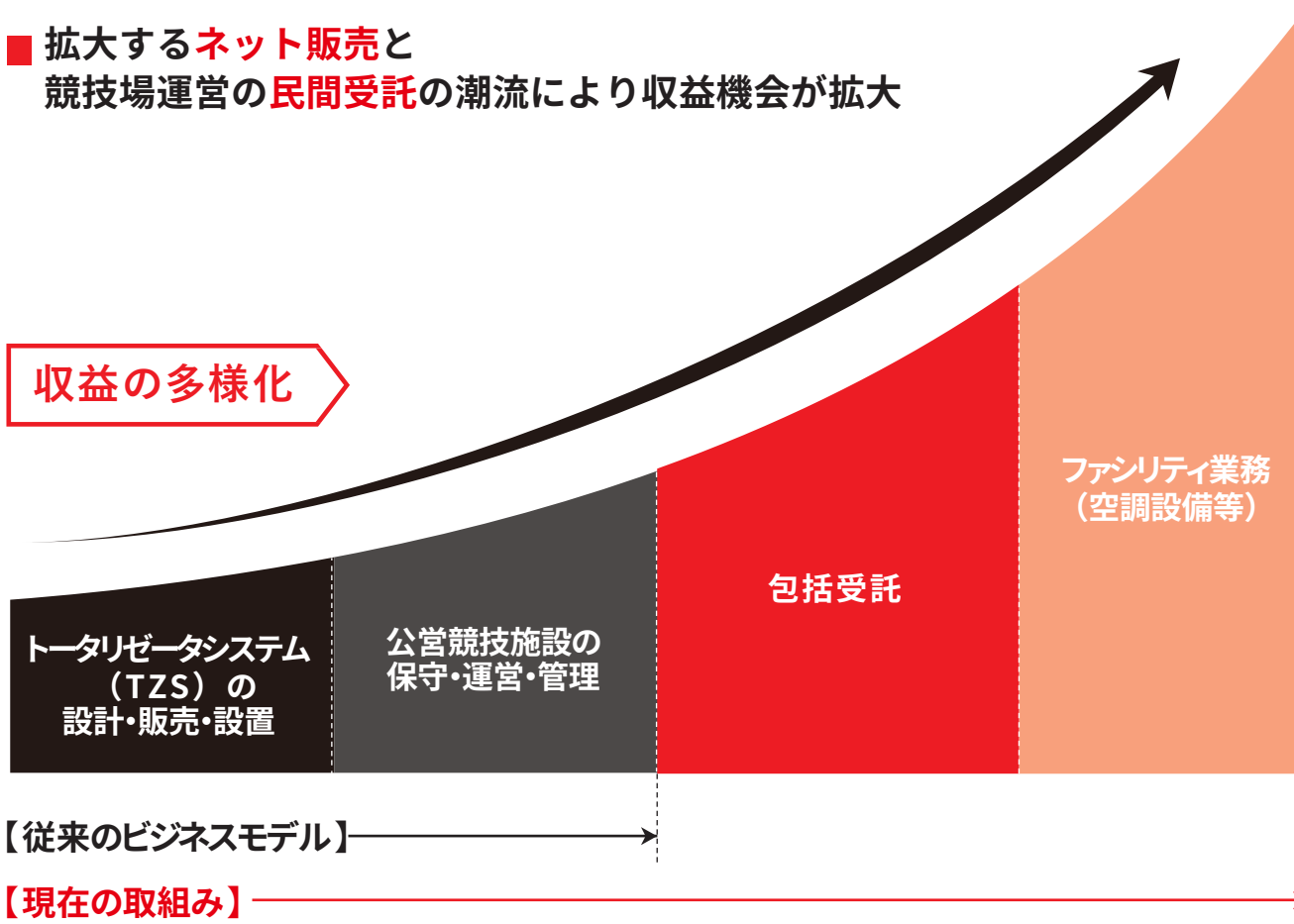


# 公共サービス事業



## ビジネスモデル

- 公営競技運営業務を**一気通貫**で提供する事により差別化
- 拡大する**ネット販売**と競技場運営の**民間受託**の潮流により収益機会が拡大



1 運営事業者が個別に発注していた業務を包括的に受託  
業務効率化等により収益率が向上

2 AI予想、ネット販売サイトの運営



Alcast analysis



3 場外車券場を運営



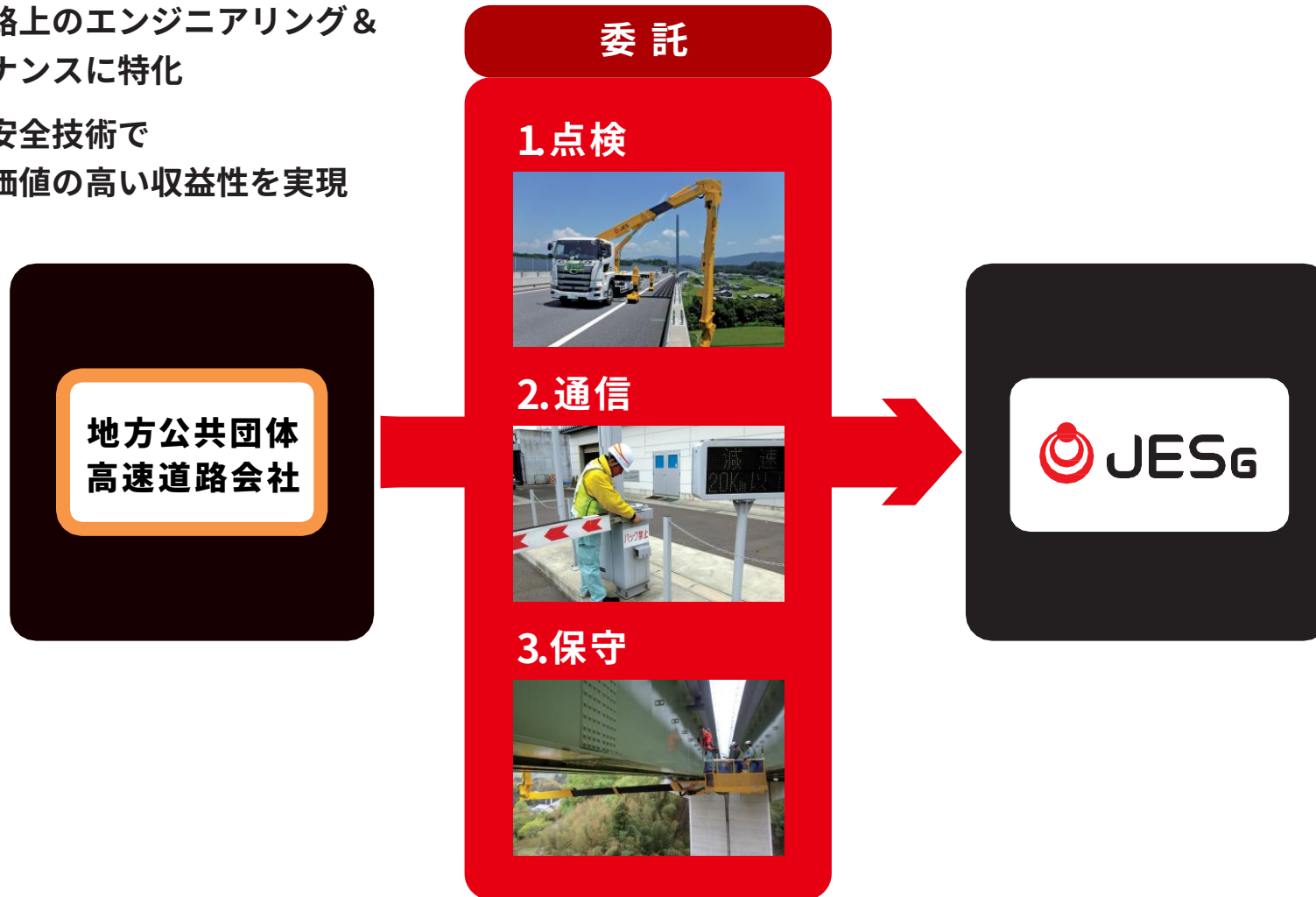
4 空調設備等のファシリティ業務

# 交通インフラ事業



## ビジネスモデル

- 高速道路上のエンジニアリング & メンテナンスに特化
- 高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現



## 本資料における注意事項



本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

### 本資料及び当社IRに関するお問合せ先

---

#### 管理本部IR担当

☎ 0586-64-9249

✉ [ir.jesg@jp-eco.co.jp](mailto:ir.jesg@jp-eco.co.jp)

